

教育警察常任委員会活動評価総括表（案）

資料 1

1 委員会活動の振り返り（委員間討議の結果の概要を記載する）

- ・交通安全施設等の更新については、今年度も委員長報告を行い、予算増額など一定の前進が見られたが、今後はそれがどのように県民の安全につながっていったのかを当委員会で調査していく必要もあるのではないか。今後の課題としては、センターラインの摩耗への対応や交通事故多発地帯への対応などが考えられる。
- ・防災対策・防災教育については、重点調査項目の一つであったが、十分に調査を行うことができなかつたところもあり、次年度以降も取り組んでもらえればと考える。
- ・次期の県立高等学校活性化計画については、県内外調査も含めて十分に調査し、委員長報告も行うなどしっかりと活動し、委員会での意見も反映することもできた。
- ・学力・体力の向上についても、県内調査などを通じてしっかりと具体的な調査をすることができた。

2 各委員（理事）の評点の平均点

項目	評価の視点	平均点
(1)年間活動計画の進捗度	年間活動計画の内容は適切なものでしたか。 重点調査項目について十分な調査・審査を行いましたか。 年間活動計画に沿って委員会活動を行いましたか。 （その他、評価の理由等（自由記載）） [<ul style="list-style-type: none"> ・防災教育の部分がやや弱かった。 ・防災対策・防災教育については不十分であったかもしれない。 ・2の(3)の防災対策・防災教育についての県内外調査を今後実施していくべき。]	3.6
(2)委員会運営の円滑度	すべての議案・事項を丁寧に調査・審査しましたか。 委員会で十分な議論をしましたか。 委員長報告が各委員の合意したものとなるように努めましたか。 （その他、評価の理由等（自由記載）） [<ul style="list-style-type: none"> ・警察が行使する「権力」へのチェックが不十分。]	4.1
(3)議員間討議の充実度	議員間討議の機会を十分に活用しましたか。 議員間討議を十分に行いましたか。 議員間討議を通じて合意形成を図るよう努めましたか。 （その他、評価の理由等（自由記載）） [<ul style="list-style-type: none"> ・県内外調査・高校生県議会などの内容について討議を活用できた。]	3.9
(4)県内外調査の充実度	県内外調査の調査先は適切でしたか。 調査先で十分な調査を実施しましたか。 県内外調査における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。 （その他、評価の理由等（自由記載）） [<ul style="list-style-type: none"> ・次期県立高校活性化計画の策定の議論に特に役立てることができた。 ・県立水産高校（実習船）は特色のある県立高校としてしっかりと認識を深められた。 ・高校活性化、学力と体力の向上などしっかりと調査できた。]	4.0

項目	評価の視点	平均点
(5)県民など多様な意見を活用した調査・審査の充実度	<p>「参考人招致」や「公聴会」における意見をその後の調査・審査に活用しましたか。</p> <p>「みえ現場de県議会」における県民の意見をその後の調査・審査に活用しましたか。</p> <p>「みえ高校生県議会」における高校生の意見をその後の調査・審査に活用しましたか。</p> <p>「請願」、「議員勉強会」、「県民の声」などにおける意見をその後の調査・審査に活用しましたか。</p> <p>(評価点の理由や気づいた点があれば、記載してください。)</p> <p>[・高校生県議会については、予算議論にも役立てることができた。]</p>	3.6
(6)調査・審査結果の施策への反映	<p>調査・審査の結果、施策へ反映したこと(例えば、経過報告を求めた、知事への申し入れを行った、議員提出条例の検討を行ったなど)について記載してください。</p> <p>(「交通安全施設の整備」「次期県立高等学校活性化計画(仮称)」については特に委員長報告をとりまとめ、来年度予算や次期計画へ大いに反映して頂いた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運転免許センターへの看護師配置について、検討しているとの答弁。(長崎県警での調査) ・交通安全施設の整備や更新について ・特殊詐欺対策(自動通話録音警告機) ・重点項目についてほぼ実施。 ・交通安全対策等協議内容およびそれを受けての委員長報告が来年度予算に反映された。 	/

※評価は5点満点です。(5点・・・大変良くできた、4点・・・良くできた、3点・・・概ねできた、2点・・・あまりできなかった、1点・・・できなかった)

※各項目の自由記載欄については、各委員個人の意見を掲載しております。

教育警察常任委員会 活動計画書 (平成28年5月～平成29年5月)

平成28年6月30日現在

1 所管調査事項

- ・学校教育の充実について
- ・社会教育及び文化財保護行政の推進について
- ・警察の組織及び運営について

2 重点調査項目

- (1) 県立高等学校の活性化について
- (2) 学力・体力の向上について
- (3) 防災対策・防災教育について
- (4) 総合的な犯罪抑止対策と交通安全対策について

3 活動計画表

重点調査項目	平成28年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平成29年 1月	2月	3月	4月	5月
(1) 県立高等学校の活性化について (2) 学力・体力の向上について (3) 防災対策・防災教育について (4) 総合的な犯罪抑止対策と交通安全対策について		常任委員会 所管事項説明 (6/1) 常任委員会 議案の審査、 所管事項の調 査等 予決分科会 補正予算等 (6/21, 23)	県内調査 (7/5)	県内調査 (8/5) 県外調査 (8/23～25)		常任委員会 議案の審査、 所管事項の調 査等 予決分科会 補正予算 (10/6, 11)	予決分科会 平成27年度 歳入歳出決 算、所管事項 の調査(当初 予算編成に向 けての基本的 な考え方) (11/1)	常任委員会 議案の審査、 所管事項の調 査等 予決分科会 補正予算等 (12/12, 14)			常任委員会 議案の審査、 所管事項の調 査等 予決分科会 当初予算、補 正予算等 (3/●, ●)		
執行部の主な予定		・成果レポ ート(案)				・平成29年度 経営方針(案) ・一般会計、 特別会計決算 ・当初予算編 成に向けての 基本的な考え 方		・当初予算要 求状況		・当初予算案	・平成29年度 経営方針		

4 県内外調査について

(1) 県内調査

- 7月5日(日帰り) 学校を訪問し、ICT機器を活用した教育の推進や高校の活性化に向けて特色ある教育づくりを推進する取組状況等について現地調査を行う。(松阪及び南勢志摩管内)
- 8月5日(日帰り) 専門的知識や技術を応用して取り組む科学捜査の現状や子どもたちが体を動かすことが好きになる体育の実践状況等について現地調査を行う。(津及び伊賀管内)

(2) 県外調査

- 8月23日～25日(2泊3日) 活性化に向けて特色ある取組を進めている高校をはじめ、先進的な取組をすすめる学校教育の取組などについて現地調査を行う。(九州方面)

教育警察常任委員会 活動実績書（案） （平成28年5月～平成29年5月）

平成29年3月13日現在

1 所管調査事項

- ・学校教育の充実について
- ・社会教育及び文化財保護行政の推進について
- ・警察の組織及び運営について

2 重点調査項目

- (1) 県立高等学校の活性化について
- (2) 学力・体力の向上について
- (3) 防災対策・防災教育について
- (4) 総合的な犯罪抑止対策と交通安全対策について

3 活動計画表

重点調査項目	平成28年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平成29年 1月	2月	3月	4月	5月
(1) 県立高等学校の活性化について (2) 学力・体力の向上について (3) 防災対策・防災教育について (4) 総合的な犯罪抑止対策と交通安全対策について		常任委員会 所管事項説明 (6/1) 常任委員会 議案の審査、所 管事項の調査 等 予決分科会 補正予算等 (6/21, 23)	県内調査 (7/5)	県内調査 (8/5) 県外調査 (8/23 ~ 25)		常任委員会 議案の審査、所管 事項の調査等 予決分科会 補正予算 (10/6, 11)	予決分科会 平成27年度歳入 歳出決算、所管事 項の調査（当初予 算編成に向けて の基本的な考え 方） (11/1)	常任委員会 議案の審査、 所管事項の調 査等 予決分科会 補正予算等 (12/12, 14)			常任委員会 議案の審査、 所管事項の 調査等 予決分科会 当初予算、補 正予算等 (3/9, 13)		
執行部の主な予定		・成果レポート (案)				・平成29年度経 営方針（案） ・一般会計、特別 会計決算 ・当初予算編成に 向けての基本的 な考え方 ・次期県立高等学 校活性化計画（仮 称）骨子案		・当初予算要 求状況 ・次期県立高 等学校活性化 計画（仮称） 中間案		・当初予算案	・平成29年 度経営方針 ・次期県立高 等学校活性 化計画（仮 称）最終案		

4 県内外調査について

(1) 県内調査

- 7月5日（日帰り） 学校を訪問し、ICT機器を活用した教育の取組（松阪市立三雲中学校）や県内唯一の水産高校として特色ある教育づくりの取組状況（三重県立水産高等学校）などについて調査しました。
8月5日（日帰り） 専門的知識や技術を応用して取り組む科学捜査の現状（科学捜査研究所）や子どもたちが体を動かすことが好きになる体育の実践状況（名張市立百合が丘小学校）などについて調査しました。

(2) 県外調査

- 8月23日～25日（2泊3日） 実学によるビジネス教育の取組状況（指宿市立指宿商業高等学校）をはじめ、県立高等学校教育の改革取組（長崎県教育委員会）や連携型中高一貫教育の取組（長崎県立大崎高等学校）、更には、高齢社会総合対策の取組状況（長崎県警察本部）などについて調査を行いました。

平成28年度の主な議会の取り組み（参考）

- 1 子どもの貧困対策調査特別委員会の設置<5月>
- 2 サミットを契機とした地域の総合力向上調査特別委員会の設置<5月>
- 3 選挙区調査特別委員会の設置<5月>
- 4 三重県手話言語条例（議員提出条例）の制定<6月>
- 5 「成果レポート」に基づく今後の県政運営等に関する知事への申し入れ<8月>
- 6 みえ高校生県議会の開催<8月>
- 7 公共政策大学院からのインターンシップ実習生の受入れ<9月>
- 8 みえ現場 de 県議会の開催<1月>
「女性活躍の推進～中小企業の現場で～」
- 9 議員勉強会の開催
 - ・第1回 「子どもの貧困対策について」<9月>
道中 隆 氏（関西国際大学教授）
 - ・第2回 「手話の普及をめぐる現状と課題」<11月>
金澤 貴之 氏（群馬大学教授）
 - ・第3回 「女性の職業生活における活躍推進について」<3月16日開催予定>
権丈 英子 氏（亜細亜大学副学長）

調査・審査結果の施策への反映に関する参考資料

- 1 平成28年度「成果レポート」-----1
- 2 各定例会月会議における委員長報告一覧-----5

Ⅲ 所管事項説明

1 『平成28年版成果レポート』に基づく今後の『県政運営』等に係る意見への回答
(教育委員会関係)について

【教育警察常任委員会】

第1編(第一次行動計画の評価)

施策番号	施策名	主担当部局名	委員会意見	回答
224	学校における防災教育・防災対策の推進	教育委員会	<p>屋内運動場等の吊り天井等落下防止対策については、熊本地震の被害状況などからみても、喫緊の課題であることから、予算面で厳しいところもあると思うが、出来るかぎり前倒しして取組を進められたい。</p>	<p>屋内運動場等天井等落下防止対策について、平成27年度に実施した30校46棟では、特別支援学校や避難所に指定されている体育館を優先的に実施しました。特別支援学校の整備が平成28年度・平成29年度とピークになりますが、平成29年度にも施工できるよう、本年度は10校ほど設計を実施する予定であり、できる限り前倒しして取組めます。</p>
			<p>生徒が支援者となる視点からの防災教育は地域から見てもとても重要なことである。このため、そこに向けて中高校生の意識付けをしっかりと図っていくとともに、地域の防災組織等との連携なども含め、各地域の実情に応じた取組をしっかりと進められたい。</p>	<p>これまで主体的に行動する力を育成する防災教育を推進してきましたが、今後は、生徒が支援者となる視点から安全で安心な地域社会づくりに貢献する能力を育成する防災教育にも取り組めます。</p> <p>平成28年度は、本県の中高生が東日本大震災の被災地を訪れ、仮設住宅の訪問によるボランティア活動や現地中高生との交流学習を通じて、地域の一員として行動できる意識や行動力の育成に取り組んでいます。</p> <p>また、地域の防災組織との連携については、各学校で自主防災組織などと連携しているところですが、みえ防災・減災センターとも連携して各学校での防災訓練等の取組を支援してまいります。</p>

『平成28年版成果レポート』に基づく今後の『県政運営』等に係る意見への回答

【教育警察常任委員会】

第2編(第二次行動計画の取組)

施策番号	施策名	主担当部局名	委員会意見	回答
141	犯罪に強いまちづくり	警察本部	<p>特殊詐欺の被害は、特に高齢者の方々に集中していることから、敬老会など高齢者の方々が一堂に会する場などを効果的に活用し、一人でも多くの方々にわかりやすく情報を伝え、特殊詐欺の被害にあわないような意識を高めていく取組をしっかりと進められたい。</p> <p>刑法犯の認知件数が減少してきたなか、更なる抑止力の向上を図っていくため、交番・駐在所の機能強化などに加え、警察官の増員によるマンパワーの強化などにも力をいれるとともに、地域の実情にあった交番・駐在所の再配置やパトロール強化などの取組についても検討されたい。</p> <p>犯罪の未然防止につながる防犯カメラの設置については県民からの要望も多く出ており、県では、警察本部をはじめ環境生活部においても取組を進めている。このため、関係部局との連携をしっかりと図りながら、住民の防犯に役立つ防犯カメラの設置を進められたい。</p>	<p>特殊詐欺の被害を防止するためには、被害者の多くを占める高齢者の特殊詐欺に対する警戒心・抵抗力の向上が不可欠であることから、県警察では、高齢者が多数集まる会合やイベントでの防犯講話のほか、高齢者宅を戸別訪問しての防犯指導、年金支給日における街頭キャンペーン、高齢者と接する機会が多い民生委員等への協力依頼など、あらゆる機会を捉えた防犯指導・広報啓発を実施しています。</p> <p>その一環として、本年度は、県内全小学校と連携し、敬老の日を中心に、児童から身近な高齢者や保護者等にメッセージカードを手渡し、特殊詐欺に対する注意を呼び掛けることとしています。</p> <p>今後も、関係機関・団体等と連携し、詐欺の具体的な手口や被害に遭わないための注意点等について、分かりやすく、かつ、心に残る幅広い広報啓発に努め、高齢者を始め広く県民の特殊詐欺に対する警戒心・抵抗力の向上に取り組んでまいります。</p> <p>犯罪の抑止・検挙活動を強化するため、交番・駐在所の建て替え整備や改修による長寿命化、パトカー等の配備、人的資源の増強等による交番・駐在所の機能強化を図るとともに、今後も警察官が増員されるよう国に対する要望活動に取り組んでまいります。</p> <p>交番・駐在所の配置については、都市構造や治安情勢の変化を勘案し、地域の実情に即したより効果的かつ効率的な場所への配置に努めます。</p> <p>また、引き続きパトロール等の街頭活動を推進し、制服警察官による「見せる活動」により、地域住民の安心感の醸成に取り組んでまいります。</p> <p>街頭防犯カメラは、公共空間における犯罪の予防や被害の未然防止、犯罪発生時の早期の事件解決に有効であり、県警察では、本年度、県内随一の繁華街・歓楽街で事件やトラブル等の多発地域である四日市市諏訪地区に、街頭防犯カメラ10基を新たに設置することとしております。</p> <p>一方、地域社会の安全・安心を確保するためには、警察と自治体、事業者、地域住民等が連携・協働して取り組む必要があることから、引き続き、自治体や自治会、商店街など各種主体による自主的な設置促進を図るとともに、これを後押しする、自治体による設置補助金制度の導入・拡充の働き掛けに取り組んでまいります。</p>

第2編(第二次行動計画の取組)

施策番号	施策名	主担当部局名	委員会意見	回答
221	夢や希望をかなえる学力と社会参画力の育成	教育委員会	<p>スマートフォン使用などの生活習慣や読書習慣の確立に向けて県が取り組むチェックシートの利活用については、県が一方的に行うものだけではなく、県がしっかりとフォローしていくなど、家庭とのやり取りが双方向でできるような形で、しっかりと進められたい。</p> <p>団塊世代における教員の退職が進むなかで、1年目の新任教員が担任に着くような動きがある。このため、新任教員の配置時の導入教育についてしっかりと取り組むよう検討されたい。また、非常勤講師についても研修を受けやすい環境づくりに努められたい。</p>	<p>生活習慣・読書習慣チェックシートについて、市町等の要望を踏まえ、子どもと保護者が家庭でのスマートフォン等の使用のルールづくりを考える項目を追加するなど発達段階に配慮して作成し、PTA等と連携し活用を推進しています。また、家庭で話し合っただけでなく、学校等でも状況を把握して、学校便りや懇談会等で保護者と情報共有し、児童生徒の生活指導に生かしていくなど、家庭へのフィードバックが進むよう、取り組んでいきます。</p> <p>新任教員については、採用前研修を教職等に関する基礎的・基本的な知識を身につけることを目的として3月に実施しています。また、初任者研修については、悉皆研修として、目指す教師像や指導方法の工夫改善など、より実践に近い形で年間を通して計画的に実施しています。</p> <p>非常勤講師等については、各学校で校長が、生徒指導上の諸課題など一定時間を設けて、研修をしています。</p>
223	健やかに生きていくための身体の育成	教育委員会	<p>食育の推進で、朝食を食べないというのは、家庭環境や生活習慣によるところが大きいものと考えられる。このため、各家庭から見えてくる実態などをしっかりと把握したうえで、他の関係部局との連携も図りつつ部局横断的な取組として進められたい。</p>	<p>子どもが朝食を食べない理由は、「時間がない」、「食欲がない」が8割であり、就寝時間が不規則など保護者も含めた生活習慣も影響していると思われます。そのため、生活習慣チェックシートを活用して、生活習慣を見直していく取組を進めています。しかし、家庭状況によっては、生活習慣の改善が難しい場合もあることや、平成27年度「三重県子どもの貧困対策計画」が策定されたことから、健康福祉部とともに、積極的に情報収集・情報共有を図り、関係機関と連携して総合的に取り組んでいきます。</p>
225	笑顔あふれる安全で安心な教育環境づくり	教育委員会	<p>「いじめ防止条例(仮称)」の制定に向けては、真に寄り添えるようなものにしていくことが重要であり、今後は、県議会をはじめ関係者からの意見を十分に聴き取ったうえで条例制定の検討を進められたい。</p> <p>いじめ、暴力など生徒指導上の諸問題、不登校などがあるが、現場からは、発達障がいと密接に係わっているとの声をよく聞く。今後、これらを解決していくなかで、もし発達障がいと関係があるようであれば、そのようなことも併せて検討されたい。</p>	<p>「いじめ防止条例(仮称)」の制定に向け、他県の先例研究や、関係機関との協議を進めています。子どもの心に響くかということが重要であり、条例の文言だけでなく、制定プロセスにおいても、当事者目線・子ども目線の工夫ができないかという問題意識を持って、鋭意検討し、平成28年度中を目処に取り組んでいきます。</p> <p>児童生徒に係るいじめ等生徒指導上の諸課題については、個別の指導計画等の活用や関係機関との連携などを通して、発達障がいも含めた一人ひとりの障がいの状況も踏まえながら、総合的に対応してまいります。</p>

各定例会月会議における委員長報告一覧

9月定例会月会議

○「交通安全施設の整備」について(10/19)

信号機や横断歩道など交通安全施設の整備は、県民にとって非常に身近で関心が高い問題であり、本委員会でも、これまでに幾度となく委員長報告を行うなど、県民の安全・安心を確保していく上で喫緊の課題となっています。

県当局におかれては、関係機関との連携・調整を十分にはかり、厳しい財政状況の中であっても必要かつ十分な予算を確保していただいたうえで、必要性・緊急性の高い箇所への信号機の設置や摩耗した道路標示の塗り替えなど、ひとつでも多く交通安全施設の整備充実を進められるよう要望します。

○「次期県立高等学校活性化計画（仮称）」について(10/19)

次期県立高等学校活性化計画（仮称）は、地域の状況や学校の果たす役割等にも十分に配慮するなど、これまでにない新たな視点も取り入れた活性化計画として検討が進められています。

今後、活性化計画の策定を進めていくうえでは、小規模校の意義に十分配慮して検討を進めていただくよう要望します。また、多様な学習ニーズをもつ生徒たちが学ぶ定時制課程・通信制課程の更なる充実に向けても検討されるよう要望します。